

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	Blossamジュニア北上教室			
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに寄り添った支援の充実	「こどものことを十分理解し、特性に応じた専門的な支援が受けられていると思いますか」という質問に対して 13人が「はい」、2人が「どちらともいえない」と回答頂き支援内容が、個々の子どもに合わせて丁寧に提供されていることが評価頂いております。	個別支援計画のブラッシュアップ 特性に応じた支援ができるよう、更に保護者や子どもの声を取り入れ、計画の更新頻度を増やして参ります。 職員研修の強化 専門的な支援をより深化させるため、定期的に新しい支援方法や発達支援のトレンドについて研修を実施していきます。 成功事例の共有 実際に支援がうまくいったケースを職員同士で共有し、ベストプラクティスを蓄積して参ります。
2	保護者との密なコミュニケーションと説明の丁寧さ	「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか」に 14人が「はい」と回答。 また、「利用時に運営規程や支援プログラムについて丁寧な説明があったか」についても 全員が「はい」と回答。 保護者との連携を重視し、情報共有や説明を大切にしている点が強み。	相談・面談の機会を増やして参ります。 既存の保護者との良好な関係を活かし、定期面談の回数を増やす。（四半期ごとの相談会等 検討して参ります） オンライン相談の導入で、忙しい保護者にも対応できるように検討して参ります。 情報発信を強化 保護者向けの通信やSNSの活用をさらに進め、活動報告や支援内容をこまめに共有して参ります。 ペアレント・トレーニングの充実 子どもの成長を家庭でも支えやすくするために、保護者向けの勉強会や相談会を定期的に実施致します。
3	「子どもが安心して楽しく通える環境」をさらに発展	「こどもは安心感をもって通所していますか」「こどもは通所を楽しみにしていますか」に対して 15人全員が「はい」と回答頂きました。 環境整備や支援の手厚さにより、子どもがリラックスして過ごせる場所になっていることが評価頂きました。	通所の楽しさをアップデート 現在の活動プログラムをさらに魅力的にするため、新しいアクティビティ（例：アート活動、農業体験、音楽ワークショップなど）を取り入れを検討していきます。 地域との交流を増やす 地域イベントに参加し、他の子どもたちとの交流機会を作って参ります。 近隣の学校や施設と連携し、合同イベントを開催を検討致します。 子ども主体のプログラムを導入 子ども自身が活動を企画・選択できる機会を設け、主体性を育んで参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との面談機会の不足	「定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか」という質問に対して、「はい」9人、「どちらともいえない」4人、「いいえ」2人 という結果を頂戴しております。 積極的な働きかけが少なかったと現状考えております。	面談の頻度を増やし、保護者の相談に対応する時間を確保して参ります。 予約制の個別相談日を設定することで、より親身な対応が可能になるよう努めて参ります。

2	地域との交流の機会が少ない	「放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会がありますか」という質問に対して、「はい」4人、「どちらともいえない」1人、「いいえ」1人、「わからない」8人 という結果を頂きました。ご指摘の通り、施設外のかかわりに関してはまだまだ不足していると思っております。	地域の施設や学校と連携し、他の子どもたちとの交流イベントを企画して参ります。 公園での合同活動や地域のボランティア参加など、多様な経験を提供して参ります。
3	家族支援プログラムの充実	「家族に対して支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や研修会、情報提供の機会等が行われていますか」という質問に対して、「はい」7人、「どちらともいえない」2人、「いいえ」2人、「わからない」3人 という結果を頂いております。この点についてもまだまだ改善の余地があると反省しております。	ペアレント・トレーニングや家族向け研修の定期開催を増やして参ります。 家族向けの情報提供を強化し、支援の活用方法を分かりやすく伝えて参ります。